

## TOPICS

- ・大腸憩室症
- ・胸部×線(レントゲン)検査について

この広報誌は、田園調布中央病院と患者さまが一体となって、病気やけがと闘うために少しでもお役に立てるよう、スタッフ一同が心をこめて皆さまへお送りする情報誌です。

## 診療科目

**内科** (一般・リウマチ・膠原病・呼吸器・消化器)

**外科** (一般・消化器・呼吸器外科・肛門 内視鏡外科)

**整形外科** (一般・骨折・各関節痛・ひざ・骨粗鬆症)

**眼科** (一般・白内障・網膜剥離・緑内障)

泌尿器科・循環器内科・皮膚科・疼痛外来

形成外科・脳神経外科

予防接種(肺炎球菌・インフルエンザ・MR・麻疹・風疹・

破傷風・おたふく風邪・肝炎)※対象 15歳以上

ウエルネス外来(要予約)※自由診療

## 受付時間

【午前】8:00~12:00 【午後】8:00~16:30

診療開始

【午前】9:00~ 【午後】14:00~

- ◆診療科により受付・診察時間が異なる場合がございます。詳細につきましてはお電話、受付までお問い合わせ下さい。

## 面会時間

11:00~20:00(面会時間は他の患者さまにご迷惑のかからないようお守り下さい。)

医療法人社団七仁会田園調布中央病院

〒145-0071

東京都大田区田園調布 2-43-1

TEL:03(3721)7121

田園調布中央病院ホームページ

<http://denenchofu-hp.jp/>

発行:田園調布中央病院 広報委員会

## 病院理念

支える医療を実践する

## 基本方針

- ・救急・急性期医療に全力で取り組む事で、命を支えます。
- ・地域の方々と共に地域医療へ貢献する事で、地域を支えます
- ・疾病の早期発見・予防に努める事で、健康を支えます

## 患者様の権利

当院では患者様の

1. 良質で公平な医療を受ける権利
2. 医師による説明を受ける権利
3. 医療を選択し自己決定する権利
4. プライバシーを尊重される権利
5. 事故情報の開示を求める権利
6. 個人情報を守る権利

患者様の権利を尊重し安全で良質な医療の提供を行うために患者様のご協力をお願いいたします。



大腸憩室症とは大腸の壁の一部が外側へ飛び出したものです。

大腸の壁を血管が通る部分は筋層が弱くなっているため、大腸の内圧が高くなることにより粘膜がその弱い部分から突出することにより生じます。

頻度は加齢とともに増加することとなり、多発性のものとなります。以前は欧米人に多くみられていましたが、近年食物繊維の少ない食事（食事の欧米化）により、日本人にも多くみられるようになってきました。60歳をこえる年代では15%以上の頻度で見られるとも言われています。

また、日本人には上行結腸などの右側大腸に多く、欧米人では下行結腸からS状結腸の左側大腸に多くみられていましたが、やはり日本人でも欧米人のように左側結腸の憩室が増加しています。

## ■診断■

大腸内視鏡検査(図1)や注腸造影検査(図2)で診断は出来ます。CT検査でも憩室の診断が出来ることもあります。またCT検査では周囲への炎症波及の程度や合併症である膿瘍の有無の診断なども出来ます。

## ■症状■

大腸憩室があってもほとんどの方は無症状で経過します。しかし、時に憩室に便が詰まって炎症(憩室炎)を起こし腹痛をきたします。憩室の場所により右側腹部痛や、左下腹部痛としてみられます。出血(憩室出血)し、下血をきたすこともあります。大腸憩室のある方のうち約10%の頻度で出血、約20%の頻度で憩室炎を起こすとの報告もあります。

## ■治療■

大腸憩室症は悪性の疾患ではないために、憩室があるだけでは治療の必要はありません。憩室により炎症、出血、狭窄、穿孔などが起こると治療が必要となります。

## ■大腸憩室炎

炎症が軽度の場合には抗生剤投与による外来治療を行う場合もありますが、多くの場合は入院のうえ絶食とし、抗生剤投与を行い治療します。

また、炎症を繰り返すと腸管が狭くなり(狭窄)手術を要することもあります。

## ■憩室出血

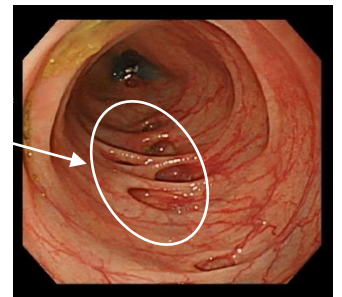
憩室出血は絶食、点滴にて自然に止血することが多いですが、輸血を必要とするほどの大出血となる場合もあります。また、大腸内視鏡を行い、クリップにて憩室を閉鎖し止血する処置が必要となることもあります。ただ、憩室は多発していることが多く、出血していない時に内視鏡検査を行っても出血原因となっていた憩室を見つけることは困難です。

まれではありますが、出血が続き、内視鏡的にも止血困難な場合には血管造影検査で血管塞栓術や、外科的治療が必要となることもあります。

大腸憩室症はたまたま他の検査により発見されるなど比較的多く遭遇する疾患です。特に合併症がない場合は治療の必要ありません。ただ、腹痛や下血の原因となることがあるため、大腸憩室のある方は食物繊維の多い食事摂取をするようにしましょう。

(図1)

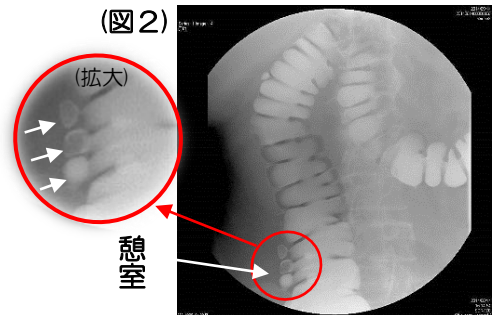
憩室



(図2)

(拡大)

憩室



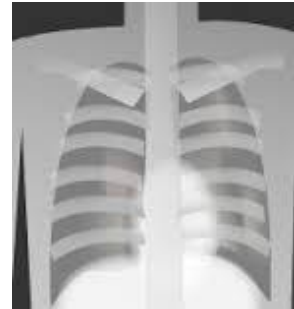


誰もが学校や職場の健康診断で1度は受けたことがありますよね。  
咳・痰が出る、胸が痛い、息苦しいなどの症状がある時にも撮影されます。  
胸部レントゲン検査とはどんなものなのでしょう？？

## そもそもレントゲン写真とは？

胸部に背後からX線を照射して、体を透過したX線を受け取って画像にしています。

骨や病気は他の部分（皮膚や空気）よりX線を通しにくい性質を持っているので、その濃淡から体の様子を知ることができるのです。



## 検査を受ける前の準備

レントゲン検査では、撮影部位に金属やプラスチックが写り込んでしまうときちんと診断することができません。検査着に着替えて頂くか、無地の肌着だけになって頂くようにお願いしています。

ボタンの付いた服・湿布・カイロ、エレキバンなどの磁石類、ブラジャー・ネックレスなどは撮影前にはずして頂きます。



## 何がわかるの？

肺がん、肺炎、肺結核、肺気腫、気胸、胸水など肺や気管支の病気が分かります。また、肺と一緒に心臓や血管も写るので心臓が拡大する病気が見つかるきっかけにもなります。

## マンモグラフィとは違うの？

マンモグラフィと胸部レントゲン、どちらも胸を撮影しているため同じように思われがちですが、この2つは全く違う検査です。マンモグラフィは乳房のみを板で挟み、広げて撮影します。マンモグラフィで探しているのは、ほんの小さな病変です。レントゲン写真では乳房と肋骨が重なって映るため、乳腺の小さな病変は全くと言っていいほど映らないのです。よって、胸部レントゲンでは乳がんを見つけることはできません。もし、乳がんが心配だという方はマンモグラフィも受診してみてもいいかもしれません。

## 被ばくは大丈夫なのか？



一般に人体へ影響が出始める放射線の量は200mSvとされています。胸部レントゲンはというと、およそ0.05mSvといったところです。また、私たちは普段の生活をしている間にも自然界からの放射線を浴びていますがその平均は年間2.4mSvとされています。

このように、レントゲン検査で被ばくする量は健康に影響を及ぼす可能性のある線量と比べて極めて小さいと考えられます。ただし、妊娠中か妊娠の可能性のある場合は、緊急時以外はなるべく避けた方が良いでしょう。検査を受ける前にスタッフへ相談して下さい。



## 公開医療講座のご案内



### 第19回 公開医療講座

# 「糖尿病」

日時 2014年6月7日(土)  
15:00~16:00

参加費無料

申込不要

場所 田園調布中央病院 1F 特設会場

講演 田園調布中央病院 内科医師 岩淵 英章

お問合せ 田園調布中央病院  
〒145-0071  
大田区田園調布2-43-1  
☎03-3721-7121



現代病の中でも多くの人を悩ませている病気の一つ「糖尿病」。自覚症状に乏しく、重篤な合併症を引き起こす特徴があります。

今回の公開医療講座はこの、糖尿病についての正しい知識、治療法などについてお話し致します。多数のご来場、お待ちしております。

日時 2014年6月7日(土)  
15:00~16:00

場所 田園調布中央病院 1F 特設会場

講演 内科医師 岩淵 英章



## 田園調布祭りのご案内

2014年6月7日(土)8日(日)の両日、田園調布商店街のお祭りが行われます。

今年も田園調布中央病院は地域の皆様と一緒に楽しく参加させていただきます。

毎年、好評の行列が出来る”焼きそば店”や、健康相談、血圧測定、骨密度測定など盛りだくさんで行われます。また、8日の日曜日には職員も白衣から“はっぴ”に着替えてお神輿を担ぎます。

とても楽しめるイベントですので是非遊びに来てください。お待ちしております！



足を乗せるだけで簡単に測れる骨密度測定で骨年齢を調べてみませんか？

血圧測定・健康相談も充実。病院に行くのはチヨットという方も気軽においでください。



大変美味しいと評判の焼きそばです。ご来店お待ちしております。

そいやーそいやー威勢のいい声が駅前に響きます。見ているだけでも元氣になれますよ！

